

7月21日 総合的な探究の時間 (SS・SG 探究)

内容

仮説の設定、研究手法の検討、研究計画の検討

- ・ シートを配布します。提出は班ごとに1枚。

本日の活動

「今日の活動は、前回に続いて仮説の設定、研究手法・研究計画の検討です」

「研究計画は、9月8日に行う中間発表のアウトラインとなるものです。自分たちの探究活動の全体像を確認しておきましょう」

「研究計画の完成は、次回になっても構いません」

「2年生の探究では、調査・実験等の結果、見えてくるものに対して『具体的な解決策の提案』をしていくことを目標にしています」

「研究計画の中に、その内容は書けなくてもよいですが、最終的には解決策の提案をすることを念頭に探究を進めてください」

「みなさんが扱っている探究テーマは、簡単に解決できないものばかりです。持続的な取り組み、解決のためのしくみが必要になります」

「具体的な解決策の提案とは、持続的な取り組み・しくみの提案です」

「提案をする立場は個人でも良いですが、行政機関、NPO や NGO などの組織、企業活動としてなど様々な立場からの提案を想定することができます。自分たちのテーマに応じて、どのような立場からの提案が可能かも考えておいてください」

「配布したプリントの各項目に記入してください。提出は、班で1枚です」

「テーマの確認に使いますので、他の項目の記入が完了していなくても、この時間の終わりに提出してもらいます」

「アンケート調査・インタビュー調査やその他のフィールドワークなどを計画している人・班は、実施する前にその内容を見せてください」

アンケート・インタビュー等を実施する班の把握（内容・対象・場所・日程）をお願いします。行わせて良いか、判断に迷うものは係(吉田な 生物室)にご相談ください。

「この時間に、図書館を利用してもかまいません。図書館を利用する前には、できるだけ一女図書館の蔵書検索ページで調べるようにしてください。蔵書検索ページについては、Classroom の2学年に紹介されていますので、確認してください」

個人や小さな班どうしが合流して、活動する申し出があったら許可してください
4,5人の班が分割することも可です

○ その他

- ・ 終了時にシートを回収してください(班で1枚) 「吉田な」机上に提出してください。
- ・ 話し合いには、適宜シールドを使用するように指示してください
- ・ 班編成ができれば、必要に応じて図書館へ行くことが可能です

○ 次回予告 等

「次回7月28日は、今回の活動の続きです。必要な資料等は事前に用意するようにしてください」

「シールドを持ってきた人は、忘れずに教室へ持ち帰ってください」

「シールドは分解して、ロッカーの上にまとめておいてください」

「班長は、シートを提出してください」

本日(7月21日)の活動

グループ番号	
--------	--

自分は左上に(班長に、副班長に○)

組	番		組	番	
組	番		組	番	
組	番		組	番	

○ 仮説を立てよう(76,77 ページ)

リサーチクエスチョン

--

仮説	仮説の根拠

○ 研究計画をまとめよう(該当ページはありません。中間発表のアウトラインにもなります)

タイトル(のちに変更してかまいません)

--

キーワード(これまでに扱ったなかから特に重要なものを3~5つ程度)

--

要旨(研究の重要性を先行研究・事例から具体的に示す。研究の目的を明確にする。研究の実行可能性を示す)

--

研究背景(初見者が研究テーマを理解できるように必要な情報を紹介する。研究同期についても述べる)

--

研究目的・意義(78,79 ページ)

--

研究手法(66,80～85 ページ)

どの研究手法を用いるか(複数の手法を用いてよい)

調査・実験の流れ(調査・実験開始から終了までの大まかな日程を、行う場所も含めて書こう)

対象は何か(アンケート調査・インタビュー調査などの対象、文献調査の場合は取り扱う内容・文献名、実験に用いる試料や観察物について書こう)

どのような準備が必要か(アンケート調査・インタビュー調査の場合は、対象への連絡のほか、調査項目の作成などについて、文献調査の場合は文献の入手方法、実験を行う場合は必要な装置や資料、施設について書こう)

調査・実験で気を付けること

まとめ(最後にもう一度、研究の意義と目的について述べる)

--